

繋げよう! 安心、安全、信頼の輪

Z E N S H O K Y O

全 商 協

全国遊技機商業協同組合連合会広報誌

1 JANUARY
2013
VOL.12



新春特別インタビュー■阿部恭久中古機流通協議会委員長
年頭所感■8単組理事長



謹んで新年のご挨拶を申し上げます
本年もよろしく願いいたします

全国遊技機商業協同組合連合会
会長 中村 昌勇

Z E N S H O K Y O
全 商 協
全国遊技機商業協同組合連合会広報紙
CONTENTS 1 JANUARY 2013
VOL.12



門松の竹の先端を
このように整えたのは徳川家康だったとか…
武田信玄に対するライバル意識だった
という説もある
こんな話はもう大昔のこと
お正月の門松は平和そのものだ
2013年が皆様にとって良い年で
ありますように

- 1 新春特別インタビュー 阿部恭久 中古機流通協議会 委員長
- 4 年頭所感 東遊商・中村理事長 北遊商・遠藤理事長
東北遊商・高橋理事長 中部遊商・安藤理事長
関西遊商・和久田理事長 中国遊商・松原理事長
四国遊商・日野理事長 九州遊商・石山理事長
- 12 2012年を振り返って
- 14 達つあんの辛口コラム
- 15 役員さん登場！ 林 和宏 理事
- 18 地区遊商だより Vol.8
- 20 NEWS 8地区で実技講習会開催 理事会報告・委員会報告
- 21 業界NEWS・お知らせ・編集後記

新春特別
インタビュー

阿部恭久

中古機流通
協議会

委員長

業界6団体からなる中古機流通協議会。
オブザーバーとして行政当局も同席し、
中古機流通制度に関するあらゆるテーマが議論されている。
その舵取りをするのが全日遊連副理事長の阿部恭久委員長だ。
そこで阿部委員長に中古機流通制度や業界に対する認識などを伺った。



——早速ですが、中古機流通協議会の委員長として中古機流通制度に対する認識からお話してください。

阿部 委員長になってから日が浅いため、すべての状況を把握してはいませんが、中古機流通制度が販社主導となつてから10年間、とてもスムーズに運用されているとの印象です。また、ホール側の立場から見ますと、中古機のスムーズな移動により事業が継続できている中小ホールも多いと思っています。この中古機流通制度は販社だけではなく、ホールにとっても重要なシステムです。今後も制度を維持できるよう適正な運用を求めていきます。もうひとつ、中古機流通制度により中古機の二次・三次使用が可能となり廃棄台が抑制できました。パチンコ業界が資源浪費型産業だといわれるベースがなくなった点はとても意義のあることです。

——次に全日遊連の副理事長としての心境はどうですか。

阿部 もともと全日遊連と日遊協

で組合活動に参加していましたが、団体間の違いや壁はあまり感じてなく、業界全体が良くなればどこの団体であろうと自分自身は特には意識していません。ですから、全日遊連の副理事長でも取り組むべきことをしていくだけですし、立場が変わったから私自身が大きく変わるかというと、それはありません。

——業界は厳しい状況が続いていますが、まず何が必要でしょうか。

阿部 当然ながらホール全体が良くならなければメーカーや販社、その他の関連会社も良くはなりません。業界全体を良くするにはホールに来店するファンの数を増やすことが大前提となります。最新のレジャー白書によりますとファン人口は1260万人です。最盛期に3000万人だったファン人口は半分以上にまで減ったことになりました。では、なぜファン人口は減ってしまったのか。私たちは改めて議論しなければなりません。

——ファン人口を増やす方策はあるのでしょうか。

阿部 私が昔から言っているのは、今のパチンコは結局のところ、ほとんどセブン機しかないわけです。

たとえば貸玉料金が1円でも4円でファンはセブン機で遊ぶしかないわけです。でも、それですと投資金額の差はあっても大当たりまでの時間やゲーム性に違いはありません。しかし、以前ですとハネモノやチューリップ、権利モノと

なぜファンは減ってしまったのか 改めて議論しなければならない

いったバリエーションがありました。現在はほぼ、セブン機一辺倒です。新規ファンの入り口となるハネモノなどの入門機が増えなければ業界の将来はないと感じています。

——パチンコのゲーム性の幅が狭まったのが問題なんですね。

阿部 それと昔はハネモノやチューリップがあれば玉単価が落ちましたが、現在は機械では落とせなため貸玉料金を下げるしかありません。そうではなく、同じ貸玉料金でも玉単価を落とせるような機械を考える必要性もあります。

——その1円パチンコに代表される低貸玉営業が普及していますが……。

阿部 1円パチンコであれば4倍の稼働がなければ4円パチンコよりも売上が落ちます。これは当然の話ですが、実際には1円パチン

コに4円パチンコの4倍の稼働があるわけではありません。1円パチンコにより営業を継続できる店舗があるのは事実ですが、この状況が将来的に継続するかどうかという私には疑問が残ります。

——パチンコのバリエーションや玉単価のお話がありましたが、これはホールだけの問題ではなく業界全体で考えるべき問題ですね。

阿部 そうです。これは一企業で解決できる問題ではありません。やはり業界全体で解決するために議論を深めるしかありません。どうすれば5年後、10年後に向けてファン人口を増やせるのか、業界全体で共通認識をもって話し合うことが大切です。

——次にパチンコの依存問題に関する電話相談機関であるリカバリーサポート・ネットワーク(RSN)についてですが、すでに21世紀会による支援が開始されています。

阿部 私は昨年11月に都遊協の研修会で沖縄県にあるリカバリーサポート・ネットワークの事務所を訪問し

● 略歴
あべ やすひさ
昭和34年5月、埼玉県川口市生まれ。成蹊大学法学部卒業後、株式会社竹中工務店入社。平成4年7月、同社を退職し、サンキョー株式会社入社。平成13年9月、同社代表取締役役に就任。都遊協では、平成6年から青年部活動に参加し、平成15年5月、副理事長(経営委員長)に就任し、全日遊連参与となる。本年5月に都遊協第3代理事長に就任し、全日遊連副理事長、現在に至る。趣味は、ゴルフとスキー。

ました。日曜日の夜に西村先生のお話を聞き、翌日に実際の相談機関を見学したのですが、まず感じたことが相談員の数が現在の3名で良いのかという点です。東遊商など各団体のご協力により相談件数は増加していますので、1日の相談件数が15件ぐらいになっています。3人の相談員で15件の電話相談を受けるとなるともの凄く大変です。また、依存問題を抱える人が相談できる窓口は設置できませんが、解決するための環境はまだ未熟です。また、相談員も話を聞くことはできてもその後の追跡調査ができない現状に心配もしています。さらに、クレームの不満のはけ口として利用されるなども、相談員の大きなストレスになっていますので、彼らの心のケアも必要です。

——お話を聞くと、業界がRSNを支援できることがまだあるように感じます。

阿部　そこで、これはぜひ書いてほしいのですが、RSNは認定NPO法人になるための準備を始めています。この認定NPO法人を取得するには3000円以上の寄付または賛助会費を継続する寄付



者を年間平均で1000人（団体）以上を集めなければなりません。

RSNが認定NPO法人になり安定した運営ができると相談員を増やすなどスタッフの負担も軽くなります。ぜひ、全商協にもご協力をいただければと思います。

——では、全商協及び組合員に対

する要望や期待する点などあります。

阿部　中古機流通制度ですが、適正に運用していかなければ制度の存続が危ぶまれます。そうなれば販社だけではなく、ホールにとっても大きなマイナスになってしまいます。適正な運用でなければ自

分たちで自分の首を絞めることになりそうですので、お互いに守るべき約束事は守り、適正に運用していくことが最終的に一番の利益になります。この点をお願いしたいですね。

——中古機流通協議会の委員長としての今後の抱負をお聞かせください。

阿部　先程も言いましたが、中古機流通制度はホール営業にとっても非常に大きな役割を担っています。これが継続的に運用され、さらにより良い制度になるよう考えて実行していきたいと思っています。また、ホールと販社のお互いにとって満足のいくかたちは難しいかもしれませんが、お互いに接点を探りながら中古機流通制度を継続させるのが一番だと考えています。

——次に全日遊連の副理事長としての抱負はありますか。

阿部　団体間の壁は原田前理事長時代に低くなったと感じていますので、それを青松理事長のもとで一層進めていきたいと考えています。今後は組合それぞれの利益だけではなく、業界全体が諸問題の解決に向けて一丸となる必要があります。

お互いに敬いながら、
この難局を乗り切る。

全商協の核となるべく組織力を強化し 勇気を持って諸施策を実行していく

昨年は、東日本大震災の影響により延期しておりました東遊商創立50周年記念式典を、第51回通常総会に併せて開催いたしました。記念式典には各業界団体の関係者を始め、多くの方々にご臨席を賜り、また皆様からは暖かい50周年のお祝いの言葉を頂戴し、誇らしく思うと共に良い節目になったと感じております。この場を借りて、ご出席頂いた皆様には改めてお礼を申し上げます。また、記念式典の実行委員は、開催までの準備で大変苦勞されたと思いますが、記念講演やライブステージなど趣向を凝らした催し物がご臨席頂いた皆様に喜ばれており、とても良い経験になったのではないのでしょうか。

当然のことながら、創立50年という節目を迎えられたのは、諸先輩方のご努力と関係各位のご支援・ご協力、そして現在の組合を支える役員や組合員のご尽力があったからこそです。これからも組合を継続・発展させ、次世代に継承していく責任が私にはありますので、今後も良い状態でバトンタッチできるよう組合運営の舵取りに邁進していきます。

さて、東遊商では、これまで中古機流通制度の健全化、適正化に努めているところですが、残念ながら昨年は組合員から違反者が出てしまい、そのうち数社の除名処分が決議されました。違法行為に手を染め、決められたルールを守れない組合員によって中古機流通制度の存続が危ぶまれてはなりませんし、ルールを遵守する組合員の利益を守るためにも必要な対応でした。改めて関係各位には深くお詫び申し上げますと共に、今後は再発防止を徹底して参ります。

これまでも東遊商では、中古機流通に携わる全ての組合員、取扱主任者、実務担当者に向けた研修会を開催して研鑽を重ね、事故の未然防止と事件の徹底阻止を図ってきました。中古機流通協議会から打刻申請業務の委嘱を受けている責務がありますので、中古機を扱う販社には機械対策委員会に必ずひとり代表が出席してもらい、全体会議で研修した内容を会社に持ち帰って主任者等に教育することを約束しています。これは組合という組織の在り方や遵守事項を末端にまで浸透させるシステムだと自負しています。

また昨年、東遊商では、パチンコ依存問題相談機関であるリカバリーサポート・ネットワークに関するチラシが入ったポケットティッシュの配布を、関東のホール様をお願い致しました。今年もこの問題解決に向けて、協力を続けていきたいと思っています。

全商協は8単組が全国の販売業者をまとめ、組織力で目標を達成していく団体であります。その先頭に立ち、勇気を持って諸施策を実行することが東遊商の役割だと考えていますので、これからも組合員のレベルアップを図りながら組織力を強化し、全商協の核となるよう努力を続けたいと思います。



中村 昌勇

全商協会長 東遊商理事長

遠藤重廣



業界のバランスが崩れているため
それを正していく年にしたい

昨年の道内をみますと、新台の販売台数が減少する中でも、中古機の取扱件数は微減に留まりました。本来であれば中古機とは、新台の流通量に比例して増えていきますが、新台の流通量が減少しているにも関わらず、1件あたりの取扱台数は減少しているものの、件数に大きな変動はない状況でした。この要因としては、新台の購入を控えるホール様が増え、1機種をチェーン店間で移動を繰り返すところにあります。それだけ道内のホール様も疲弊していると感じており、今年はホール様の経営環境が改善されなければ、中古機流通も厳しい年を迎えると考えております。

さて、北遊商では、毎年開催しております研修会や実技講習会にて取扱主任者のスキルアップや、組合員の不正防止に対する意識の向上に努めているところです。昨年も7回におよぶ実技講習会を実施し、取扱主任者の点検確認業務のスキル向上を図りました。また、実技講習に加えて筆記試験も行い、中古機流通の適切な運用に向け研鑽を重ねております。これからも北遊商では、中古機流通協議会から委嘱を受ける打刻申請業務の適正な運用と、中古機流通制度の違反者を組合員から出すことのないよう啓蒙活動を徹底してまいります。

また、昨年に導入されましたテレビ会議システムでは、全国8単組との連携がスピーディーに図れ、相手の表情も分かりますので、緊密なコミュニケーションを図りながら組合運営について話し合われています。テレビ会議システムもすっかり定着したと実感しているところです。

社会貢献活動では、毎年道内の福祉施設に寄付金を贈呈するなど積極的に取り組んでいますが、昨年は児童福祉施設に寄付をしました。身寄りのない子どもたちの姿に心も痛みましたが、こうした社会的弱者を助ける意味でも、今後とも社会貢献活動は継続的に行っていきたいと考えております。

最後に、今年の決意を表す言葉には「整」を選びました。業界は厳しい環境下に置かれ、ホール件数が減り、新台の販売台数も落ち込んでいます。その中で販売業者も苦しい立場となっており、業界全体のバランスが崩れていると感じています。そこで、今年は崩れたバランスを正していくためにも、業界全体がひとつに纏まり、業界が存続していくための知恵を出し合えるよう、話し合いを進めることが大事だと考えています。

乱れたものを正しくそろえる。
またはととのえる。

ディフェンス9割だが、
後退することなく
一歩ずつ前に進んでいく。

東北人の粘り強さで 着実な前進を目指す

東日本大震災から1年9か月が経過しました。沿岸部に近い内陸部では新しい仮設住宅も建ち並び、全国から復興のために人が集まってきたため、営業を再開したパチンコホールは、一時期繁盛したことがありました。居酒屋もどんどん新店が増え、前年対比で200%も売り上げがアップしたケースもありました。しかし、今になって思えばそれは一時的な賑わいでしかありませんでした。抜本的な道筋ができない限り、被災者の方々は本当に娯楽を楽しみたい、という気持ちは生まれて来ないからです。我々も含めて被災地の方々が出来る範囲で、前に歩んで行くことが大事です。が、それだけでは限界があるので、よりスピーディーな復興計画の実現を期待したいものです。

東北遊商では全商協や全国の単組の皆さまのご協力のもとに、昨年3月に商社部会が、9月には東北遊商本体がそれぞれ主体となって、南三陸町に参加スタッフ全員が協力してコミュニティーハウスを建築することができました。その節は全国の各単組をはじめ、関係各位からの支援と激励等大変にお世話になり、改めて感謝申し上げます。

地元の方々にもこのコミュニティーハウスは大好評で、完成時には餅まきをして祝っていただきました。この模様はインターネット等でも紹介され、「うちにもウッドハウスを作って欲しい」という要望が寄せられていたほどです。これからもできるだけご希望にそいたいと考えています。

さて、業界に目を転じると、地場のホールさんの復興なくして、われわれの商売は成り立ちません。沿岸部では土地を売り払って、再開のめどが立っていないホールさんも中にはいらっしやいます。その影響をわれわれ販社は受けることになります。

震災とは直接関係はありませんが、東北の商圈は南北に560キロの距離があり、それをカバーするのに、疲弊してきている販社も少なくありません。京都府亀岡市で無免許の少年が居眠り運転で通学途中の児童の列に突っ込み、大勢の方が亡くなる、という痛ましい事故が起こりました。「もし、あのような惨事を我々の仲間が起こしていたら」と想像しただけでも身震いがします。早朝から深夜3時、4時まで働く過酷な労働環境の下では、決して他人事ではないからです。地吹雪で前方が見えなくなる冬場の運転は、特に注意しなければなりません。同じ雪国で広い営業エリアを抱える北海道も同様の悩みを抱えておられます。販社の負担軽減、労働環境の整った、経費倒れにならない中古機流通システムの構築が望まれるところです。

業界の現状は決して明るいものではありませんが、この1年を「凌ぎ」、防御する一方ではなく、たとえ1割でもいいので東北人特有の粘り強さで一歩ずつ前進していきたいと考えています。



高橋 一則

東北遊商理事長



安藤利彦

閉塞感を打破する
エコパチの登場に期待

昭和50年代初頭、日本中がインベーダーゲームに席卷され、パチンコ店には閑古鳥が鳴き、休廃業に追い込まれるホールも出てきた時期がありました。この時、青息吐息の業界の救世主となったのが平和のゼロタイガーであり、SANKYOのフィーバーでした。

2012年度のレジャー白書によると、パチンコの参加人口は1260万人で、前年比の410万人減(24.6%減)、と大幅な減少率となり、これまでにない落ち込みが明らかになっています。

加えて、最近の若者はパチンコには興味を示さなくなっています。強力なライバルとなっているのが、手軽にいつでも、どこでもできるソーシャル・ネットワーク・ゲームの存在です。SNSの運営会社がプロ野球球団を持つ時代で、もはやバーチャルなネットの世界と侮ることはできません。ゲームポイントでネットショッピングができるとなれば、若者のパチンコ離れに拍車がかかることが予想され、業界としても看過できません。

インベーダーゲームブームをフィーバーが駆逐した時のように、業界から注目されているのがエコパチの登場です。構想の説明段階で遊技機の具体的な姿は、まだボールに包まれたままですが、多彩なゲーム性で客離れに歯止めを掛ける起爆剤になることに期待が寄せられています。

その一方で、エコパチ開発の目的の一つはセキュリティの強化、と言われています。しかし、IT技術の目覚ましい進歩で、システム強化やセキュリティ対策が万全であっても、完璧なものはありません。エコパチ時代になっても、目視点検確認業務はわれわれの生命線でもあり、何としても死守し、その役割はきちんと果たしていかなければなりません。

そのためにも、中部遊商としては実技試験を導入してスキルアップを図っているところです。実際、講習会を受講し、27項目の点検項目の実技試験を含む研修を修了した人を「登録取扱主任者」と呼び、ペーパー試験で取得した日遊協の遊技機取扱主任者とは一線を画しています。実技試験は各単組ともスタートしたばかりですが、試験内容などを含め全国統一を図りながら推し進めていくことが急務といえるでしょう。

今年は政治も動くことでしょう。全商協も皆で自らが動き、活路を見出せる年にしたいと思います。

閉塞感のある時代は
自らが動いて活路を見出さなければならない。

和久田の和というのはさておき、
皆で業界の発展のために力を合わせて調和する。

高コスト体質からの脱却で、 時間消費型レジャーへの回帰を

2011年のパチンコ・パチスロ市場規模を表す「レジャー白書」が発表されました。それによると参加人口は1260万人で、前年対比の410万人減（24.6%減）、と大幅減で、業界としては看過できない落ち込みが明らかになっています。

パチンコ人口が減る要因の一つとして考えられるのが、パチンコ業界の高コスト体質ではないでしょうか。それはホールだけでなく、メーカー、販社にも共通しています。このコストを支払っているのはいうまでもなくエンドユーザーです。おカネがかかり過ぎるパチンコについて行けなくなって、今や業界を支えているのはヘビーユーザーという状況です。

今、業界に求められるのは時間消費型レジャーへの回帰です。パチンコは当たることが面白いわけですから、初当たり回数を増やして、消費金額を抑える機械が求められるところです。そのために業界全体が高コスト体質からの脱却をしなければならないと思います。

ホールもメーカーも販社も全員が一丸となって協力すれば、業界は必ずよくなるはずです。日本はこれから高齢化社会に突入する中で、お年寄りの皆さんには、パチンコは絶対に必要となる大衆娯楽です。病院へ行くよりもパチンコを打って元気になっていただく。お年寄りの皆さんで溢れる地域のコミュニティーの役割もパチンコホールが担うことを求められてきます。そのためには時間消費型レジャーへの回帰は急務ともいえます。

その期待の現れの一つがエコパチです。さらに多様なゲーム性で新たなパチンコファンの開拓につながることも期待され、パチンコを止めてしまった本来のお客様が戻ってくる可能性もあります。当然、エコパチ以外の選択肢があることも望まれるところです。

社会貢献活動として関西遊商としては、今期からは形が見えるものを残すことにしようと決めました。その第一弾が青色防犯パトロールカーの寄贈です。大阪府防犯協会連合会に打診したところ、複数の候補がありましたが、今回は防犯パトロールカーを1台も所有していない泉佐野市の泉ヶ丘町内会に決まり、昨年11月18日に贈呈させて頂きました。

今後も防犯パトロールカーを関西2府4県に毎年1台ずつ寄贈できれば、と考えています。

またチャリティーコンペで集まった浄財で、2府4県の社会福祉協議会へ40台の車椅子を寄贈しました。この活動も続けていけたらと思います。

今年は関西遊商を含めて、関西の各府県遊協、日遊協、回胴遊商、運送業者の皆さんが一堂に会する場を持ちたいと考えています。横のつながりを深め、業界発展のきっかけを作りたいと願っています。



和久田守彦

関西遊商理事長



松原陽輔

他団体から信頼される中古機流通のためにも
取扱主任者のレベルアップを

中古機流通システム制度の目的は、不正機排除の取り組みです。その要となるのは遊技機の保守管理の確立、型式の保全措置の徹底、責任の所在の明確化であることはいまでもありません。

これまで、新規の取扱主任者に対しては、基礎的な研修に終始していましたが、昨年はこれまでの基礎研修に加え、販社に所属する全取扱主任者を対象に、新QRシステム導入に伴う筆記講習並びに実技試験を実施しました。中国遊商に所属する184名が全員合格することができました。今後とも他団体から信頼されるために、全国的に取扱主任者のスキルのレベルアップを図らなければならないと思います。

加えて、現在の中古機流通システム制度をさらに信頼され、維持していくためには、撤去遊技機の確認、事前の点検確認、ビニール袋詰め、設置後の点検確認、ホール管理者の立会いを徹底することが重要です。これがおざなりにされたとしたら、この制度は崩壊する、といっても過言ではありません。そのためには、組合員や取扱主任者に対して、常に危機意識を共有させ、厳格で適正な運用を図るべく、各種機会を通じて本制度の重要性を認識していただかなければなりません。

業界全体の活性化と発展のためには、メーカー、販社、ホールが一体となって、お客様を増やす努力が必要です。

その一環として、中国地方では年1回、毎年10月にメーカーの方々に集まっていたいて意見交換会を開いています。この場では販売方法を巡ってお互いの立場の不満をぶつけ合うのではなく、回を重ねるごとに建設的意見の交換会の場となっています。

政治が混沌として先の見えない状況が続いています。政権交代によってカジノ法案の審議も始まる可能性も出てきます。国内のデフレ経済の長期化による収入の減収や娯楽の多様化に伴って、ユーザーのパチンコ離れは著しい状態に陥っています。

パチンコ本来の姿は大衆娯楽です。まず、老若男女を問わず、楽しく遊べるような遊技機環境を整えていく必要があります。また、若者が受け入れ易い、ゲーム性の高い遊技機や少ない小遣いでも長時間楽しむことができる安価で多様な遊技機の開発が期待されるところです。

いずれにいたしましても、機械代コストを抑えられる中古機の重要性は高まるばかりです。もはやホール営業に中古機は欠かせない存在です。中古機流通で難局を乗り切り、次世代につなぐためにも、より一層取扱主任者のレベルアップを図り、安心して使っていただける中古機流通に努めなければなりません。

已年なので
業界全体がジャックと豆の木のように
どんどん上に伸びていてもらいたい。

力を合わせて
難局を乗り越えていくことが
今こそ求められている。

メーカーの協力も必要 一歩踏み込んだ不正対策には

中古機流通システムの根幹をなすものは、一にも二にも不正機を流通させないことであることはいうまでもありません。そのために我々四国遊商の組合員は、事前点検・納品点検のさらなる徹底を図ると共に、遊技機取扱主任者一人一人のスキルアップのため、勉強会や講習会の他に、実技試験を実施致しました。小規模な組合だから出来る事ですが、中古機流通に関わる者全員に、いつも通りの納品点検を実際に試験官の前で行ってもらい、27項目全てを完璧に目視点検できるかどうか、確認します。試験官役の組合員も、事前に何度も勉強会を開いて大変な時間と労力を使いますが、四国遊商として一台も不正機を流通させない様に、出来る事は全て実施していこうと思っています。

われわれの手で、さらに踏み込んだ不正対策を行うには、各メーカーの協力を仰ぐことも一つの方法だと思われます。製造部門や研究開発に携わっている専門職の方から研修を受けることで、遊技機取扱主任者のレベルアップにもつながるものと思われます。

さて、今年の中古機市場を振り返ると、新車が売れなければ、中古車市場が成り立たないのと同じで、中古機流通は新台の販売台数に頼らざるを得ません。新台の販売台数が減少するのに伴って、中古機の取扱量も前年対比では減少しています。そういう状況で由々しき問題が中古機ネット売買での詐欺行為です。ネットは怖くて買えない、となればますます中古機市場が狭まることになります。価格だけに囚われることなく、信頼のおける全商協加盟の商社から買うことも防衛策の一つともいえます。

社会貢献活動の一環として新たに取り組んでいるのがオレンジリボン運動（子供虐待防止）です。すでに東遊商さんの方で実施されているものですが、サポーターグッズであるオレンジリボンバッジを組合員各社で買って、胸につけるようにしています。知人やホール様にも賛同していただけるよう、声をかけております。

組合創立50周年の記念事業としてスタートした接待木の植樹は、50周年の50本を皮切りに、今年は52本を植樹することができました。

今、業界に求められているのは、力を合わせる「協」です。まず、各々の家族で力を合わせ、そして、それぞれの会社で力を合わせる。そのエネルギーを各地区遊商に集結させ、それを全商協の力とし、最終的には、遊技業界全体で力を合わせる。個々の力には限界がありますが、小さな力が積み重なっていけば、やがて大きなエネルギーになると思います。



日野 泰昌

四国遊商理事長



石山 敬達

不正の手口が多様化する中で
求められる点検確認の技量向上

新しい中古機流通の運用が始まって2年半が経過しました。保証書への信頼を回復し、次のステップとして、作業の効率化について検討できることを希望しています。

しかし、それは「保全措置」等の現行ルールがきちんと履行されていることが前提となりますので、組合員への指導を徹底するとともに、調査により履行状況を把握することも重要であると考えています。

現在の中古機流通制度は、ホールにとっても大変重要な制度であることを認識していただき、ホールと販社の両者がルールを理解し、守っていくという姿勢で臨まなければ信頼される制度として確立できないことを、ホールに対しても啓蒙していく必要があります。

取扱主任者に対しては、全商協の各地区遊商は本格的に「実技研修制度」を開始し、点検確認のさらなる技量向上を目指しています。また、違反者に対しては、これまで以上の厳しい罰則も整備し、信頼できる中古機流通制度になるように取り組んでいます。しかし、あくまでも目視等によることが、取扱主任者による中古機流通の根幹であります。個々の取扱主任者が大掛かりな機器を用いて検査するとなると「早く、安く、安全」な中古機流通を根本から見直さなければなりません。取扱主任者による現行の中古機流通制度は、実はメーカーによる不正に強い遊技機作りに負うところが大きいのです。不正に対するメーカーの的確な対応、対策が取扱主任者の点検確認への信頼性を、ひいては安心、安全な中古機流通を担保してくれるものと思います。

本年度の中古機流通量は昨年とほぼ同程度で推移しています。ネットによる中古機売買が相変わらず盛んですが、問題が多く発生しているのが心配です。営業中の遊技機をいち早く中古機の情報としてネットに掲載したものの、撤去予定日になっても外さなくなった例や代金を先払いしたにもかかわらず、予定日に中古機が届かなかったり、相手がダミー会社だったこともあるようです。これ以上市場が混乱しないように対策を講じる必要があるのではないかと思います。全商協としては中古機の点検確認の信頼性はもとより、取引の過程においても、より安全で適正な中古機流通を実現し、新台を含めた遊技機流通の活性化に貢献したいと思っています。

エコパチについて日工組からの説明がありました。費用や新たな設備投資等の問題があるため、公式なコメントはできませんが、個人的には新たなファン獲得のためには、このような思い切った取り組みが必要だと感じています。

困難な時代が続いていますが、
それに打ち勝つ＝克。

国民の将来の暮らしに大きな影響がある、消費税増税や社会保障に関する法律が成立した2012年。全商協では、「顔認証システム」を全地区遊商で実施して、中古機の確実な点検確認作業を推進した。

全商協の出来事

1月
・第4回中古機流通作業部会が、全商協会議室で開催された。中古移動及び認定作業時の料金等について協議した。

2月
・第76回中古機流通協議会が、全商協会議室で開催された。確認証紙の発給状況などについて報告した。

また、取扱主任者の点検確認作業、ホール管理者の立会の実施について報告した。

・第8回定例理事会が、宮崎市で開催された。

・セキリティ委員会等、各委員会からの報告が行われた。平成23年度の決算時の見込み、機構負担金等について報告した。

3月
・中古機流通における「顔認証システム」導入のための研究会が、各地区遊商で行われた。

・第9回定例理事会が、全商協会議室で開催された。

・機械対策委員会等、各委員会からの報告が行われた。

また、東北遊商・関西遊商が実施した南三陸町へのボランティア活動について、それぞれ報告があった。



南三陸のボランティア

《全地区遊商で顔認証システムの導入を開始》

・東日本遊商と中部遊商で行われていた、中古機流通における「顔認証システム」を、ほかの6組合でも導入開始した。

・第77回中古機流通協議会が、全商協会議室で開催された。

・中古・認定書類の表紙への押印の追加について、経過を報告した。

5月
・8組合において、通常総会が順次開催された。

また、東日本遊商では、組合創立50周年記念式典や関連行事が盛大に行われた。

・第1回定例理事会・臨時総会が、全商協会議室で開催された。

・関西遊商の笠松義清氏が理事を辞任し、新たに松川博光氏が理事に選任された。ホール駐車場等における子供事故防止活動を、全地区遊商で実施することが決定した。

《中村会長による2年目の全商協活動が始まる》

6月
・KKRホテル東京にて、第24回通常総会が開催され、中村会長による2年目の全商協がスタートした。

・平成23年度事業報告書・決算関係書類・平成24年度収支予算などが承認された。また、同日、中村会長・副会長等合計9名による「中古機流通における不正対策」の記者会見を行った。



第24回通常総会の開催

社会の出来事

・野田改造内閣が、認証式を経て正式に発足した。野田首相は、消費税増税を柱とする社会保障と税の一体改革推進へ新体制で臨むことを強調した。

・東日本大震災の復興施策を統括する「復興庁」が、発足した。

・半導体メモリ・世界第3位のエルピータメモリは、東京地裁に会社更生法の適用を申請した。帝国データバンクによると、製造業では過去最大。

・天皇陛下が、東京都文京区にある東大病院に入院して、心臓の冠動脈バイパス手術を受け、無事退院した。

・派遣労働者の保護を目的とした改正労働者派遣法が参院本会議で可決、成立した。本年10月1日より施行、派遣会社は手数料割合（マージン率）の情報提供などが義務付けられる。

《世界一高い電波塔 東京スカイツリーが開業》

・東京都墨田区に、自立式電波塔として世界一の高さ634メートルとなる東京スカイツリーが開業した。

・群馬県藤岡市の関越自動車道で、ツアーバスが防音壁に衝突して、男女7人が死亡、38人が重軽傷を負った。また、京都市の祇園でも軽ワゴン車による死亡事故が起こるなど、車による事故が相次いだ。



東京スカイツリー

・金環日食が九州南部から東南北部の太平洋側で観測された。

・国内では、1987年の沖縄以来で、このような広範囲にわたる観測は、932年ぶりだった。

・国内50基の原子力発電所で唯一稼働していた北海道電力泊原子力発電所3号機が、定期検査のため発電を停止した。商業用原発の全停止は、42年ぶり。

・原子力規制委員会設置法が参院本会議で、民主、自民、公明3党など賛成多数で可決、成立した。原子力規制委員会は環境省の外局となり、原子力安全のための規制や制度の見直しなどを行う。

・1995年のオウム真理教による地下鉄サリン事件で、警視庁は菊池直子容疑者を相模原市内で発見、殺人と殺人未遂容疑で逮捕した。高橋克也容疑者も西蒲田で確保、同容疑で逮捕した。

・2011年10月に、大津市で中学2年の男子生徒が飛び降り自殺したことが公

2012年(平成24年)を振り返って

8月

- ・第24回通常総会の報告、自工会・木原一雄相談役のインタビューなどを掲載した。
- ・《各地区遊商の組合員が、ホール駐車場等を巡回》
- ・各地区遊商の組合員が、組合で作成した腕章などを付けてホール駐車場等を巡回し、幼児の発見や不審人物の警戒など子供事故防止活動を行った。
- ・中古機流通に関して、回胴遊商と全商協の連絡会議を、回胴遊商会議室にて開催した。
- ・中古機流通協議会の委員長が、金本正浩氏(全日遊連)から、阿部恭久氏(全日遊連)に交代した。
- ・また、全商協から出席する中古機流通協議会委員を、石山敬達氏(九州遊商)から高橋一則氏(東北遊商)に変更した。

9月

- ・《宮城県で復興支援の会長杯チャリティーゴルフコンペを開催》
- ・第3回全商協会長杯チャリティーゴルフコンペを、宮城県の「利府ゴルフ倶楽部」で開催した。チャリティーにより集めた浄財は、『あしなが育英会』へ寄付され、東日本大震災で被災した子供達のための施設「東北レインボーハウス」の資金に役立てられた。
- ・全商協並びに地区遊商などの役員が、東北遊商の組合員と共に宮城県南三陸町でコミュニティハウスの建築や炊き出しなどのボランティア活動を実施した。



第3回チャリティーゴルフコンペ

10月

- ・第4回定例理事会が、テレビ会議により開催された。
- ・中古遊技機の流通にかかる違反処分の量定基準の改正等について審議した。
- ・日工組会議室において、日工組と全商協で、打ち合わせ会を行った。
- ・第5回定例理事会が、全商協会議室で開催された。
- ・中古機流通におけるネット詐欺の情報共有方法など各委員会からの報告を行った。

11月

- ・実務担当者会議が全商協会議室で開催され、中古機流通に関する全商協規約などについて協議した。
- ・各地区遊商で、取扱主任者を対象とした実技講習会・研修会等が開催され、セキュリティ委員会・委員長が全国の各地区を視察した。
- ・中古機流通の打刻書類の表紙に、証印(角印)を追加で押印(又は印刷)することとなり、各地区遊商で準備を行った。



各組合での研修会

12月

- ・《中古機流通健全化に関する全商協規約を改正》
- ・第6回定例理事会が、全商協会議室で開催された。
- ・「中古遊技機流通健全化に関する全国遊技機商業協同組合連合会規約」の改正等について協議した。
- ・また、臨時総会が開催され、同規約の改正が原案とおり可決承認され、成立した。

表されたのを機に「いじめによる自殺」が社会問題化した。

・九州北部が豪雨となり、気象庁は「これまで経験したことのないような大雨」という表現を初めて適用した。

・第30回夏季五輪ロンドン大会が開催され、日本は過去最多のメダル38個(金7、銀14、銅17)を獲得した。

・また、パラリンピックロンドン大会も開催された。

・《社会保障と税の一体改革関連法が成立》

・社会保障と税の一体改革関連法は参院で、民主、自民、公明3党などの賛成多数で可決、成立した。

・現在5%の消費税率は、景気情勢が悪化しない限り、2014年4月に8%、15年10月には10%と段階的に引き上げられる。

・《政府が尖閣諸島を国有化、中国では反日デモ》

・政府は、尖閣諸島(沖縄県石垣市)の魚釣島など3島について地権者と売買契約を締結し、国有化した。それに抗議するデモが中国各地で起こり、広州では、日本総領事館の入るホテルに暴徒が侵入した。

・日米両政府は、米軍の新型輸送機MV22オスプレイの安全確保策について正式合意した。日本政府の「安全宣言」のち、沖縄・普天間飛行場に配備、飛行を開始した。

・地域政党・大阪維新の会を母体とした新党「日本維新の会」が発足した。代表は橋下徹大阪市長、幹事長は、松井一郎大阪府知事。

・iPS細胞の研究を行った京都大学の山中伸弥教授と英国のジョン・ガードン博士がノーベル生理学・医学賞を受賞すると発表された。

・石原慎太郎氏が、新党を結成し、次期衆院選に出馬することを表明して、東京都知事を辞職した。

・《衆院が解散、12月総選挙へ》

・衆院が解散され、政府は臨時閣議で衆院選挙の日程を、12月4日に公示、16日に投票と決めた。

・米大統領選挙が行われ、民主党のバラク・オバマ大統領が再選された。一方、中国では、中央委員会第1回総会で、習近平氏を最高指導者の党総書記に選出した。

・衆議院選挙が行われ、民主党、第3極とよばれた新党などをおさえ、自民党が政権を奪還した。

達つあんの辛口コラム



2012年のプロ野球は巨人が優勝、3年ぶり日本一に輝いた。セ・リーグでは中日以外は手も足も出ない見事な圧勝じゃった。出足こそ大きくつまずいて苦しんだが、投打のバランスが抜群。投手陣はエース内海を柱に、新しく加わった杉内、ホルトンらが先発ローテーションを守り、抑えも山口、マシソン、西村らが安定感を示したよね。打者は4番・阿部を中心に長野、坂本が1年間を通して好調じゃった。それでもゲーム差ほど楽に勝った印象はないが、他球団に比べて故障者が少なかった結果じゃったと言えると思うね。一方のパ・リーグは開幕前から

予想された通りの混戦を終盤の安定感で日本ハムが制したよね。最下位のオリックスまで順位が真逆になってもおかしくない接近した力差じゃったと思うが、就任1年目ながら実に思い切りのいい采配を振るった栗山監督の手腕が光ったね。特に絶対エース・ダルビッシュが抜けた穴を、吉川という素晴らしい代役を育てて埋めた点は高く評価出来るよね。打者でも巨人・阿部に匹敵するリーダー役をベテラン稲葉がしっかり務めたんだが大きかった。

その大胆にして綿密な戦略はドラフトにも生かされたよね。花巻東・大谷の1位指名と大逆転獲得よ。日本ハムは前年も東海大・菅野を敢然と指名しとったが、こっちは入団させられんじやった。今回また大谷に拒否されれば2年連続して1位を逃がす結果になり、球団イメージもチーム編成も大変な痛手をこうむるところじゃった。リスクを回避する球団が相次ぐ中で、ルールにのっとり正々堂々と

指名して口説き落としたんじゃからまさに「あっぱれ」と賞賛したいというもののよ。しかも160キロの剛球を投げ、バッティングも超高校級の大谷を投手、遊撃手の二刀流で育てるというんじゃから何とも夢がある。現実には極めて難しいとは思うが、心から楽しみにしている。

一方、ようやく念願かなって巨人へ入団した菅野への期待感も大きいね。「一浪」の影響を懸念する向きもあるようじゃが、何も1年間寝込んでいたわけじゃない。実戦勘こそ多少鈍っていたとしても基礎トレーニングはみっちり積んできたんじゃから心配は無用というもののよ。過去の巨人にも江川、元木とドラフト浪人じゃがプロ入り後活躍した先輩はいるし、大学入学時に浪人経験のある上原(巨人)、金本(広島、阪神)、小宮山(ロッテ)らもブランクを感じさせなかったじゃろう。

また、阪神のドラフト1位・藤浪(大阪桐蔭)にも大谷や菅野と同じく非常に大きな期待感がある。何よりの魅力は進化する能力の高さよ。彼にとっては甲子園連覇も通過点に過ぎないし、ソフトバンク・武田や楽天・釜田と比べても1年目から2ケタ勝てる素材じゃ

達川 光男●たつかわ・みつお

1955年7月13日、広島県出身、57歳。広島商では73年夏に全国制覇。東洋大を経て78年、ドラフト4位で広島入団。捕手として84、86、88年にベストナイン、ゴールデングラブ賞を獲得するなど活躍し92年に現役引退。95年ダイエーコーチ、98年広島2軍監督を経て、99年から2年間広島監督。03年阪神コーチ。現スポーツ報知野球評論家、フジテレビ・プロ野球解説者として活躍中。

ろう。

最後にWBCについて。すったもんだの末に参加にこぎつけたが、3連覇がかかることも含めてプロ野球のさらなる発展、普及のため不可欠な大会じゃね。イチロー、ダルビッシュ、松坂らこれまでの中心じゃったメジャー組が参加出来るのは痛い、こればかりはやむを得んじやろう。

メンバーが若干、小粒に思えるかもしれないが、緻密で情報重視のインサイドベースボールでは侍ジャパンはどこにも負けないよ。かつて全く歯が立たなかったキューバをものともしなかった先日のエキシビジョンマッチ2試合を見て、日本野球のレベルの高さ、中でもバッテリーの配球の絶妙さには思わず「うまいっ！」と声が出たほどじゃった。ファンの皆さん、V3を大いに期待できますよ。

販社は会社の資質と信頼を
上げなければ生き残れない時代へ

林 和宏

全商協理事・中部遊商専務理事

全商協で機械対策委員会の副委員長を務める林和宏理事は、ECO遊技機時代、販社は会社の資質と信頼を今以上に上げなければ生き残れない時代になる、と指摘する。近い将来、試作機も登場することになれば、その時は待ったなしだ。

結婚するために
不動産会社を辞め
ナゴヤ商會に入社

中部遊商に所属する株式会社ライズの林和宏社長は、3代目社長でありながら、創業社長でもある。

どういうことなのか？経緯を振り返ってみよう。
ライズの起源
は昭和28年に創業したナゴヤ商會にまで遡る。



役員さん
登場!

これは林社長の祖父が名古屋駅前で興した部備品商社だ。ナゴヤ商會を引き継いだ林社長の尊父、重臣氏は中部遊商立ち上げ時のメンバーの一人で、2代目と4代目の理事長を務めた。今年49歳の誕生日を迎えたばかりの林社長は生まれた時から、パチンコ機に囲まれて育ってきた。高校や大学生になると機械整備や納品の手伝いをした。

大学を卒業する頃になっても父親からは「会社を手伝え」とも、「メーカーへ就職しろ」とのアドバイスもなく、営業職を希望していたので、地元の不動産会社に就職した。決め手となったのは東京転勤があることだった。憧れの東京で、念願の一人暮らしができることに胸を弾ませたが、東京勤務はすぐには訪れなかった。

入社1年目は新築分譲マンションを販売した。バブルが崩壊する前で、物件にも恵まれて販売数字は上がった。1年半後、東京支社立ち上げのメンバーに選ばれて、晴れて東京へ。東京ではマンション用地を探す仕事に従事し、東京近郊を歩き回った。幕張はまだ原っぱで、コンベンションセンター

ができるということで坪1000万円の相場が付いていた。

地元の不動産会社に日参して、顔を覚えてもらい新鮮な情報をもたらえる関係を構築した。半年かかって50坪ほどのワンルームマンション用地を確保することができた。マンション開発の労力を身をもって体験する。

「1年前の先輩は歩合が付いたので、給料が3桁になることもあったのですが、私が入社した年から手当てが一切付かなくなりました。大学時代から友人関係にあった妻と25歳までには結婚したいと考えていたので、20万円弱の給料では養っていけない。それで不動産会社を辞めてナゴヤ商會に就職することになりました」

昭和63年1月にナゴヤ商會に入社。この年の4月に結婚。24歳の時だった。

3代目社長 でありながら 創業社長

お客さんを開拓しなければ、会社の成長もない。元々営業が好きなので、誰から指示されたわけでもなく、新規開拓やメーカー回り

を始める。ところが意見の相違から、わずか1年半ほどでナゴヤ商會を飛び出す。

平成元年、26歳で有限会社名和を大学の同級生と共同出資で設立する。独立してすぐには倉庫を借りる力もないので、ナゴヤ商會のフロアを月額15万円で間借りしていた。

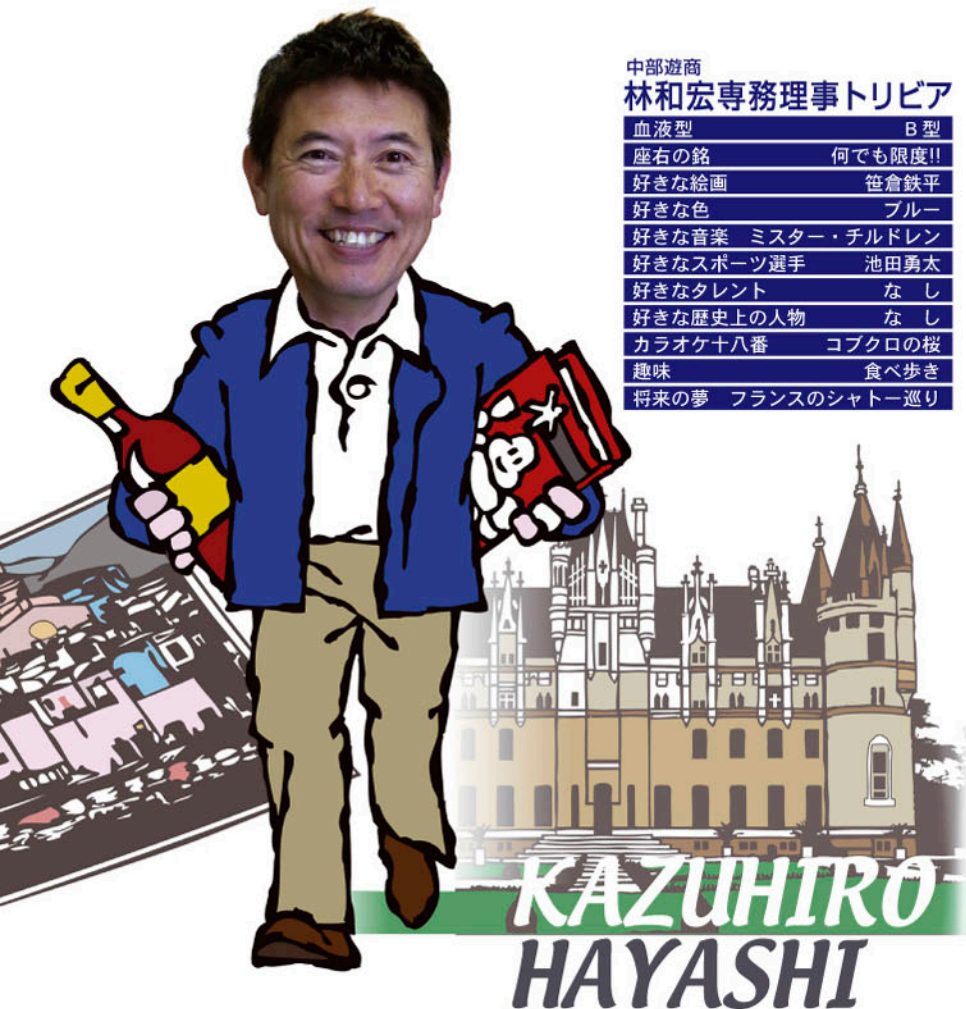
独立した時期が業界が右肩上が

りで、新店ラッシュが続いたため、寝る間もないほど多忙を極めた。日曜日の夜に機械を納品。月曜日の夜の閉店後から釘を叩き、サウナに泊まっては翌日の開店を迎える。そんなサイクルが週末まで続いた。土曜日は新台のバラ釘を調える程度。夜の閉店後は、釘の作業がないので唯一ゆつくりできる日だった。

中部遊商

林和宏専務理事トリビア

血液型	B型
座右の銘	何でも限度!!
好きな絵画	笹倉鉄平
好きな色	ブルー
好きな音楽	ミスター・チルドレン
好きなスポーツ選手	池田勇太
好きなタレント	なし
好きな歴史上の人物	なし
カラオケ十八番	コブクロの桜
趣味	食べ歩き
将来の夢	フランスのシャトー巡り



そんな多忙な生活が10年以上続いた。

転機が訪れたのは平成12年6月からスタートした販社主導の中古機流通だった。当時、名和は中部遊商に加盟していなかった。アウトサイダーでは中古機の書類作成ができなくなる。丁度、ナゴヤ商會に戻って来い、という話も出てきた。ナゴヤ商會は名古屋駅前、名和は尾張旭市にそれぞれ事務所と倉庫があった。そこで折衷案としてナゴヤ商會と名和を合併して、ライズに社名変更すると共に、現在の西区の住所に事務所と倉庫を移転することになる。2002年、日韓ワールドカップが共催された年だった。3年前から上野に東京支店を開設して市場の拡大を図っている。

これで3代目でありながら、創業社長の意味がお分かりいただけだろうか。

ECOパチ時代は知恵を絞った会社が箱舟に乗れる時代へ

中部遊商に加盟して、ライズの代表者として組合活動に参画するようになって10年になる。中部遊

商では専務理事、全商協では機械対策委員会の副委員長を兼務する。

過日、日工組からECO遊技機についての概略が発表された。中古機流通を事業の柱とする全商協としては、ECO遊技機時代に中古機流通にどう絡んでいけるかが今後の課題でもある。中古機流通は不正機を流通させないことが大前提となる。

日工組メーカーとしてはゴトのできない機械を開発することが大命題だったが、その一つの答えがECO遊技機システムでもある。不正対策を強化し、ファンの信頼を取り戻して、パチンコ人口の減少に歯止めをかけなければならぬ。ECO遊技機の出荷・設置・移動・廃棄等、機歴管理の状況把握をするために遊技機管理センターが新たに設置される予定とも言われている。

「ゆりかごから墓場まで、いま機械がどこにあるのかを一元管理するのがECO遊技機システムですが、ホールからホールへ移動するには、われわれが介入することになるので、販社がすべて排除されるわけではないと思います。ただ、会社の資質を上げ、信頼がある会

中部遊商では「若者と話が出来る上司」役を務め、安藤理事長の懐刀としても貴重なアシスト役をこなしている。全てに対して前向きに対応し、真は負けず嫌いだが、常日頃から自分自身に言い聞かせているのは「何でも限度（が大事）」との中庸にも心する若手理事。何事にも動じることなく、泰然自若として構える姿は、頼りになる存在だ。あの大地震の際にも、最後まで残って事務局員を見守ってくれた。心に安らぎをもたらしてくれる情景絵画に興味を示す絵心の持ち主は、ワイン好きでもある。

社でなければ、そこに携われないような気がします。今まで通りの形態で生き残るのは無理になって来るでしょう。そうならないために努力して、知恵を絞った会社だけが箱舟に乗れる時代になるのではないでしょうか」と危機感を募らせる。

6年ほど前から始業前に全員で事務所を掃除し、朝礼をした後で1日がスタートするようになった。小さなことを毎日コツコツと続けることは確実な成果となって現れる。

※

会社を興して20年あまりは、家でゆっくり食事することもなく、2、3年前から食卓を家族で囲めるようになった。自宅に帰って、手を洗った後、ワイン選びから始まる晩酌タイムが至福のひと時になっている。ワインセラー

には80本あまりのワインが常備されている。

「どの年代がいいか送られてきたリストをチェックしながら、ワインを選ぶ時から楽しみが始まり、飲んで楽しむ。ワインは2度楽しめます」

入門はドイツの甘目の白ワインだった。その後フランスの辛目の白ワインに移行したが、ある日、先輩から「ワインを語るなら赤を飲んで語れ」と言われたことが、きっかけで赤へ。持ち前の負けず嫌いが赤を探索する。フランスのピノ・ノワール品種に出会ってからブルゴーニュ産の赤に嵌った。

「赤は渋くてまずいと思っていたんですが、色が透き通って鮮やかで、グラスに注ぐと花の香りが華やかに香る。先輩の言っていたことは本当でしたね」

結婚記念日の1988年ものを買収求めるのが趣味にもなっている。



東北遊商

平成24年10月29日、仙台市青葉区の電力ホールで「暴力団追放宮城県民大会」（県暴力団追放推進センター、県警主催）が開催され、東北遊商からも事務局員が参加した。

宮城県警の本部長が「暴力団が東日本大震災の復興事業に介入しようとしている。断固拒否しよう」と大会冒頭で挨拶、出席者に「暴力団追放」を呼び掛けていた。また、「暴力団員の車に追突してしまった。その時あなたなら…」といったロールプレイングも披露され、暴力団の具体的な手口等も紹介された。

東北遊商の千葉事務局長は「前回の山形県、宮城県に引き続き、11月には青森県弘前市でも暴力団追放県民大会があり、私も出席してきました。被災地の1日も早い復興は、誰もが望んでいることですが、暴力団等の非社会的組織の人間には入ってきてほしくないです」ときっぱり。

**被災地から
暴力団の排除を**



北遊商

平成24年10月に組合事務所を札幌市内の豊平区から白石区に移転した。従来の事務所が手狭になったこともあり、移転先を探していたもので、本来はもう少し早く引越す予定だったが、気に入った物件が見つからず、今回やっと念願がかなったもの。移転したビルには、別のフロアに回廊遊商北海道支部も入っており、同じ札幌市白石区内には遊技メーカーの支店や販社などが多くある便利な場所だ。

事務所の移転を機に、照明をすべて蛍光灯からLEDにした。「役員さんの会社も歩いていける距離にあり、安心です。会議室も広くなり、今まで外の会場を借りて行っていた研修会なども回数をわけてですが、この事務所で行えるようなスペースも確保されました。また、電気料金の節約も期待できそう」（星野係長）。組合員にとっても利便性のある事務所を歓迎している。



事務所移転で節電LEDに

Vol.8

中国遊商

平成24年10月12日に安芸カントリー倶楽部で「子供支援チャリティーゴルフコンペ」を開催した。

コンペでは、広島東洋カープとサンフレッチェ広島から提供された選手のサイン入りのバットやボール、ユニフォームなどをオークションにかけ、その集まった募金等を八幡学園など、広島県、山口県、岡山県の3か所の児童養護施設へ寄贈した。

企画・運営した福利厚生委員会の山野委員長は「チャリティーゴルフは、平成23年に引き続き2回目となりました。前回の参加者は、30名程度でしたが、今回は、約150名が参加しました。組合員さんがチャリティーに賛同して頂ける知人、友人にも声をかけてくれたからです。広島東洋カープ、サンフレッチェ広島にも、懇意にしている組合員さんが協力を依頼してくれて、快く貴重な品を提供してもらえました。おかげでコンペは大変盛り上がりしました。今後10年間継続するのが目標ですね」とにこやかに語った。



**児童養護施設
への寄付**



関西遊商

平成24年10月12日に今回で11回目となるチャリティーゴルフコンペを、兵庫県三木市にあるジャパンメモリアルゴルフクラブで開催。絶好の秋晴れの中、組合員や関連団体等合計123人が集まった。大会終了後の表彰式では、出席者に募金箱を回してチャリティー募金への協力をお願いした結果、集まった寄付金の合計は944,000円。今回からの浄財で、近畿2府4県の社会福祉協議会を通じ、地域の社会福祉団体に車椅子を寄贈することとした。

また、新たな社会貢献活動として11月18日に、大阪府防犯協会連合会を通じて泉佐野市の泉ヶ丘町内会に、防犯パトロール車を寄贈した。今後は毎年1台を各府県の防犯協会連合会を通じて寄贈する計画予定だ。

和久田理事長は「今回もより多くの方々にご参加いただき、大変感謝しています。関西遊商では、今後も組合員全員で社会貢献に取り組んでいきたいと思っています」と語った。

車椅子・防犯パトロール車を寄贈

中部遊商

「緑の募金」に協力している。
事務所の入口に「緑の募金に協力しています」などと書かれた木のプレートや募金箱、どんぐりのキャラクターを置いている。「緑の募金」とは、「緑の募金による森林整備等に関する法律」（平成7年6月施行）に基づき行われている募金活動のこと。

この活動は「現在及び将来にわたって、豊かな緑と水に恵まれた生活を維持することができるよう、国民の自発的な活動を活かし、森林整備等積極的に推進すること」を基本的な考えとしている。愛知県では、愛知県知事から指定を受けた公益社団法人愛知県緑化推進委員会が活動の主体となっており、集まった募金は、学校や公園などの公共施設の緑化や海外での森林造成などに活用されている。

リサイクル・環境対策委員会の山川委員長は「中部遊商では、沖縄でマングローブの植樹を行うなど、環境保全に積極的に取り組んでいます。趣旨をご理解頂いて、今後も緑の募金を継続していけたらと思っています」と協力を呼びかけた。

緑の募金に協力



東遊商



平成24年11月14日、ホテル日航東京(港区台場)で平成24年度の中古機流通に関するオーナー研修会が開催され、中古機流通事業を取り扱う組合員販社の代表者もしくは中古書類業務の責任者など224名が参加。冒頭、中村理事長より「中古機流通を取り巻く環境は非常に厳しい状態ではあるが、この制度を存続させていくためにも全員が決められたルールを守り、丁寧な仕事を心がけてほしい」と挨拶があった。研修会では、すべての中古機流通を扱うために登録している遊技機取扱主任者を対象として行っている技能講習の状況と内容についての報告、昨今の中古機流通における課題や取り組み、廃棄台の適正処理について、組合担当役員から説明された。また、併せて行われた講演会では、㈱ゲームカード・ジョイコホールディングス代表取締役会長兼社長の石橋保彦氏が「進化への決断～その刻は今」と題して約90分にわたり講話を行った。遊技業界を取り巻く環境や厳しい状況をいかに乗り越えていくか？という話に、参加した組合員は熱心に耳を傾けた。

『中古機流通に関するオーナー研修会』を開催



地区遊商だより

九州遊商

平成25年度版の九遊商手帳を1350冊作成して、平成24年12月始めに全組合員に配布した。

九遊商で手帳を作成するのは、平成23年度版、24年度版に続き、今回で3回目となるが、一般の手帳機能に、組合独自の資料・情報をプラスして好評を得ている。

資料の一例をあげると、以前組合で作成した『中古機流通新運用マニュアル』や『中古・認定のガイドブック』から重要な箇所を抜粋、いつでもどこでも確認できるようにした。

また、中古遊技機の点検確認項目、日工組と日電協のメーカー記号表、遊技場店舗や中古機移動の実績数等も掲載してある。

手帳は、毎年内容を見直し最新の情報を載せることができるため、組合員の方から「中古機流通の最新マニュアルはありますか？」と組合に問い合わせがあった時は「九遊商手帳をご覧ください」と回答している。

**九遊商手帳を
作成して配布**



四国遊商

遊技機取扱主任者に対する講習を充実させている。

平成24年10月15日に、「サンメッセ香川」の大会講室で、約110名が出席して中古機流通に関する講習会と筆記試験を実施した。

前回の講習会では、同じ日に実技試験も行ったが、今回は、実技研修を充実させるため、日を改め、11月8日と9日に、「サンメッセ香川」で、11月15日・16日に「アイテムえひめ」で、4回にわけてそれぞれ28名程度の少人数が参加して遊技機を使った実技試験を行った。

実技試験では、顔認証システムで使用する携帯電話も持参してもらい、形だけではあるが、実際と同じようにQR送信などの手順を示してもらった。

研修会に参加した組合員の一人は「みんな真剣な様子で、普段よりかなり緊張しました。OKと言われ、ほっとしました」と話していた。



取扱主任者講習の充実

実技講習会開催 山本委員長らが 全国を視察

平成24年6月から約5か月にわたり、8地区遊商で取扱主任者を対象とした実技講習会(研修会)が実施され、山本龍彦全商協セキユリティー委員会委員長らが全国を順次視察した。

6月22日、九州遊商から始った講習会は、7月4日東北遊商、7月12日中部遊商、11月1日関西遊商、11月15日四国遊商、同日中国遊商、11月16日北遊商と順調に開催。最後は11月28日、実技講習会の先駆けでもある東遊商で締めくくられた。どの会場でも熱気あふれる講習風景が展開した。



実技講習会を視察したセキユリティー委員会の山本委員長(中央)

第5回理事会

開催日 平成24年10月29日(月)

開催場所 全商協 会議室

出席人数 理事本人21名

議題と審議結果・主な報告内容

①中古機流通協議会の報告

・中古用・認定用の確認証紙の発給状況をつぎのように報告した。

4月から9月まで

中古用61万枚 認定用8万4千枚

②各委員会の報告

(1)機械対策委員会

・ネット詐欺などにあつた事案の情報共有方法など、中古機流通における損害状況届案について協議した。

(2)セキユリティー委員会

・販社の倉庫を対象とした「中古遊技機に関する実態調査」について報告した。

・遊技機運送事業者の倉庫調査・冊子の作成について報告した。

(3)事業・広報委員会

・第3回全商協会長杯チャリティーゴルフコンペに関する会計について報告した。

③その他

・あしなが育英会からのお礼状などについて報告した。

第6回理事会

・東日本遊商が実施した宮崎県への支援活動を参考として報告した。

第6回理事会

開催日 平成24年12月5日(水)

開催場所 全商協 会議室

出席人数 理事本人20名

議題と審議結果・主な報告内容

④臨時総会提出議案について

・「中古遊技機流通健全化に関する全国遊技機商業協同組合連合会規約」の改正案が提出され、臨時総会提出議案として承認された。

その後、別室において、臨時総会が開催され、本案件を原案どおり可決承認したと報告した。

また、「中古遊技機流通健全化に関する地区遊商規約」の改正ひな型文案も示され、それを参考に、各地区遊商においても速やかに同規約を制定することとした。

⑤各委員会の報告

(1)組織委員会

・「中古遊技機の流通にかかる違反処分の量定基準」改正案について協議したと報告した。

理事会にて、改正箇所が説明され、満場一致で可決されたが、実際の施行日に関しては、回胴遊商と協議の上決定することとした。

(2)セキユリティー委員会

・遊技機運送事業者の倉庫調査等に関する進捗状況について報告した。

・委員長による各地区遊商の実技講習会の視察について報告した。

各地区遊商から実技講習会の試験官を2名ずつ選出して、平成25年2月頃に全商協にて合同研修会を行うことが提案され、理事会にて承認された。

また、各地区遊商で実施する実技講習については、日遊協の遊技機取扱主任者試験に合格した者について、3年に1度の頻度で受講することで統一すると理事会で決定した。各地区遊商では、最低年に1回は、実技講習会等を実施する。

(3)リサイクル・環境対策委員会

・各地区遊商の環境に関する取組みについて報告した。

⑥その他

・事務局より上期の会計報告を行った。

臨時総会

開催日 平成24年12月5日(水)

開催場所 全商協 会議室

出席人数 会員本人7名

・「中古遊技機流通健全化に関する全国遊技機商業協同組合連合会規約」の改正案が提出され、原案どおり可決承認された。

編集後記

■今年の運勢を占うのは占い師にお任せしたいが、日本人の習性として、その年の干支によって、自分に都合のよい解釈をつけて、勝手に方向付けをしてしまう傾向があるようだ。今年は「巳年」(へび年)、「十二支の中で、6番目の動物として知られる」とネットサイトにあるように、動物にあてはめると蛇になる。古来から、信仰の対象になって崇められ、天候神などとして祀りごとに用いられているわけです。

■この動物は見かけからして不気味な感じが、好まれるタイプの動物とは言い難い。が、特徴は探求心や我慢強さと情熱、また執念深いとも言われていますが、恩を受けた時には、その恩に報いることを考えるといった性格も持ち合わせる「好動物」のようです。しかも蛇は脱皮することから、「新しい誕生」や「復活と再生」をも連想させる、「神の使い」と言われ、全国各地の神社に祀られています。

■さて、平成25年はどんな年となるのか注目したい。不透明感の漂う世界経済からも、日本の将来を占う重要な節目の年になることだけは間違いなさそうだが、果たして世界で存在感を示せるような国力を復活させることができるのかどうか気になるところです。今こそ、日本という国家のブランド力を甦らせて欲しいものです。そのためにも新政権がリーダーシップを取り戻して、日本の経済力を最優先に強化して貰いたいと、誰もが願っています。(S)

NEWS

リカバリサポート・ネットワーク ホームページへのリンク設置

現在、パチンコ・パチスロ業界全体で、いわゆる「のめり込み問題」への対策が急務とされている。

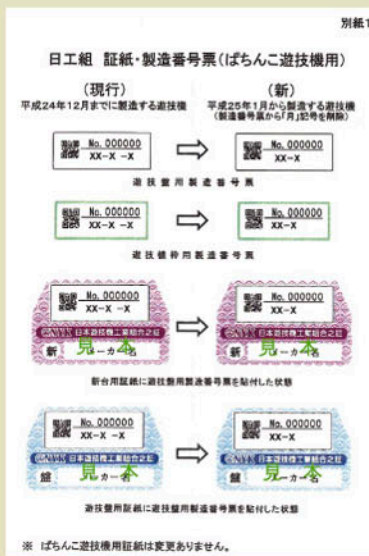
全商協ではホームページに、ぱちんこ依存問題相談機関である「リカバリサポート・ネットワーク」のバナーを掲載し、リンクを設置した。

また、事業・広報委員会から各組合へも、各組合のホームページのトップページにリカバリサポート・ネットワークへのバナーを掲載してリンクを設置してもらうよう、協力を依頼した。

今後も「のめり込み問題」への対策を、全商協全体で検討していく予定。

ぱちんこ及び回胴式遊技機の製造番号票等の変更

日本遊技機工業組合は、平成



25年1月1日の製造分から、ぱちんこ遊技機の製造番号票(遊技機用、遊技機枠用共)並びに回胴式遊技機の製造番号票(回胴部用、筐体部用共)及び証紙について、製造の効率化のため月記号を削除することとした。(別紙1参照)

なお、今回の変更は、月記号の削除のみであり、材質、大きさに変更はない。当面、新旧の製造番号票及び証紙が市場において混在することとなるので、

日遊協 第3回パチンコ・パチスロ コンクール作品募集中

日本遊技機連事業協会では、前回に引き続き、第3回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクールを実施し、作品を募集している。

テーマは、エッセー・絵手紙ともに

共通で「パチンコ・パチスロの楽しみ方」「パチンコ・パチスロへのメッセージ」の2点。詳しい応募方法は、日遊協コンクール事務局
(03・3553・4333)、または日遊協ホームページを参照。



次号は4月号です。
「取扱主任者の心がまえ」
ほかを掲載予定です。



<http://www.zenshokyo.jp/>